

令和7年度 第1回伊勢原市食育推進会議 議事録

【開催日時】 令和7年7月17日（木） 午後2時30分～午後4時15分

【開催場所】 伊勢原市役所 2C会議室

【出席者】 食育推進連絡会議委員13名・食育関連課6名・事務局6名

【公開可否】 公開

【傍聴者数】 0人

【配付資料】

- ・ 会議次第
- ・ 資料1 伊勢原市食育推進会議条例
- ・ 資料2 伊勢原市食育推進会議の検討経過について
- ・ 資料3 第4次伊勢原市食育推進計画 食育目標指標の状況
- ・ 資料4 第4次伊勢原市食育推進計画 目標・基本施策別事業評価の概要（一覧）
- ・ 資料5 令和7年度伊勢原市食育料理コンテスト実施要領
- ・ 参考資料1 伊勢原市版食事バランスガイド
- ・ 参考資料2 第4次伊勢原市食育推進計画（概要版）
- ・ 追加資料 保育園等への食育アンケート調査結果（保育・幼稚園課）

1 開会

2 あいさつ

（健康づくり担当部長）

本日はお忙しい中、令和7年度第1回伊勢原市食育推進会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。委員の皆さまには日頃より本市の健康づくり事業、食育事業に多大なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。また、今回より新たに委員をお引き受けいただいた方にも、この場を借りて御礼申し上げます。さて、昨年度は委員14名の皆さまにご参画いただき、対面形式で3回の会議を開催いたしました。本市では令和5年度から第4次伊勢原市食育推進計画がスタートし、「食で育み未来につなげるいのちときずな」をスローガンに掲げ、生涯を通じた心身の健康と持続可能な食を支える食育の推進に取り組んでおります。昨年度実施しました市民の食育意識調査の結果では、若い女性のやせ傾向、働き盛り世代男性の肥満、若い世代の朝食欠食率の高さ、そして高齢者の低栄養など様々な課題が明らかになりました。これらの課題の解決に向けては、家庭、保育園、幼稚園、学校、職場、医療機関、地域など、あらゆる場面で食育の取組をさらに充実していくことが重要と考えております。食育の推進に当たっては、行政だけではなく、食に関わる様々な関連機関の皆さまとの連携と協力が不可欠でございます。委員の皆さまのお力添えをいただきながら、本市の更なる食育の推進に取り組んでいきたいと考えております。本日の会議でも、皆さまの活発なご意見と議論をお願い申し上げますとともに、引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

3 出席者自己紹介

4 議事

(会長)

それでは、4 議事の(1)について事務局から、説明をお願いいたします。

(事務局)

(1) 伊勢原市食育推進会議の振り返りについて説明します。

このように関係者が一同に会して伊勢原市の食育について検討する会議は、11年目となりますが、資料1にありますように昨年度より、食育をより効果的に推進するため条例化され、実施しております。目的としましては、伊勢原市食育推進計画の進行管理や評価に加え、さらに、本市が今重点的に取り組むべき食に関する問題などを様々なお立場の委員の皆様と市で話し合い、連携・連動していくこととしております。

一昨年度より、食育の計画は第4次がスタートしておりまして、参考資料2が第4次伊勢原市食育推進計画の概要版になります。こちらの参考資料2の3～4ページの計画の体系にもありますように、伊勢原市では5つの食育目標と13の基本施策の下、食育を進めております。

本日配布しました資料2「伊勢原市食育推進会議の検討経過について」をご覧ください。委員の皆様は2年目の任期に入られる方が多いかと思いますが、昨年度開催した3回の会議で検討した状況について、まとめたものとなります。

昨年度は、伊勢原市の食育をまとめた普及・啓発ということで、参考資料1の「伊勢原市食事バランスガイド」を作成し、委員の皆様のお所属機関を中心に、幅広く配布させていただくことができました。

また、委員の皆様のお意見を参考に、食育意識調査を実施し、結果概要より、特に若い女性のやせや働き盛り世代の男性の肥満などの悪化がみられたため、適正体重の維持について今後どう進めていくかということが話題にあがりました。

令和7年度は、第4次食育推進計画の中間評価を行うこととなっており、この食育推進会議で検討し、残り2年の目標の確認と事業計画を作成・調整できればと考えております。これら3回の会議での御意見を踏まえ、その中でぜひ、この適正体重については特に検討していければと思います。

今年度も様々なお立場の皆様と情報共有しながら、より効果的に食育を推進していくことができるよう、協議していきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。本会議の振り返りについては以上となります。

(会長)

ただ今、事務局より説明がありましたが、御意見・御質問があればお伺いします。

女性の低体重については、非常に問題があるということを肥満学会が打ち出しており、全国的に、積極的に取り入れていこうという状況です。

他に御意見などがないようですので議題(2)「第4次伊勢原市食育推進計画中間評価について」を事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは、議事(2)第4次伊勢原市食育推進計画中間評価について説明させていただきます。

昨年度に、第4次食育推進計画中間評価に向け、20歳以上の市民3000人に対し食育に関するアンケート調査を実施しました。回収率は約51%と半数を超えた状況です。目標指標と合わせて皆様にも紹介させていただきます。

資料3をご覧ください。R3年度を基準値とし、R9年度までに達成することを目標にした、16項目の指標があり、今回は中間調査になりますので、R6年度の数値が実績値となります。実は、前回の会議でも同じ資料をお示ししていましたが、項目がすべて埋まっていなかったもので、今回すべて埋まったものになります。

目標と比較した結果ですが、◎で示した達成した項目が3個、白い△で示した目標には達していないが、少しでも改善している項目が5個と現段階では改善傾向が半数になりました。

一方、黒い▼で示した悪化した項目が8個あります。現在、県立保健福祉大学の学生の皆さんに集計の分析をしていただいております。結果が出ましたら、どの年代や性別、地域や職業などで悪化してしまったのか等詳細を見ていければと思います。

次のページからは、目標値を100%に設定した際の、各項目の実績が目標からどの位離れているかということ、グラフにしたものになります。

★印は「第4次市食育推進計画」における重点目標です。①「★20～30歳代の女性のやせ（BMI18.5未満）の人の割合」については、R3年度の時点で目標値からは離れていたのですが、さらに離れている状況で、やせの方が増えています。②「★40～50歳代男性の肥満（BMI25以上）の人の割合」も増加しています。一方、④「★高齢者の低栄養傾向（BMI20以下）の人の割合」は、R3年度より減少傾向ですが目標値には達していない状況です。⑤「20～30歳代の朝食欠食（週に1～2日又はほとんど食べない）する人の割合」は、目標値からかなり離れる割合が進んでいる傾向です。⑪「日に1回も共食をしていない人の割合」も目標値からより離れて悪化、③「★ゆっくりよくかんで食べる意識がある人の割合」は若干増加、⑥「朝食を毎日食べる中学生の割合」は少し減少、⑧「★主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上ほぼ毎日食べている人の割合」も若干減少、⑨「★健康のために、『塩分の多いものを控える』を心がけている人の割合」、⑩「★健康のために、『あぶらっこいものを控える』を心がけている人の割合」、⑦「食育への関心がある若い世代（20～30歳代）の割合」は目標達成、⑫「家で料理の手伝いをしている中学生の割合」は、R3年度はもう少しで目標達成するかというところまでできておりましたが今回大きく悪化、⑬「地域等で過去1年間に共食など、集う機会を持った人の割合」はR3年度時点ではコロナ禍でしたので、そこから通常に戻ってきている状況で目標値に近づいています。⑭「栽培・収穫・農業体験をしたことがある人の割合」は若干減少、⑮「小学校給食で1年間に地場産野菜を使用する回数」は増加傾向で目標値に近づいています。⑯「食品ロス削減のために、何らかの行動をしている人の割合」は増加傾向ですが目標値からはまだ離れています。

特に、目標値から大きく離れているのが20～30歳代女性のやせ、また3年前と比較して悪化したのが、20～30歳代の朝食欠食となっております。

次回11月の会議では、もう少し詳細な分析がお示しできると思いますが、ぜひ、今回の速報値の状況を御覧いただき、御意見をいただければと思います。

（会長）

ただ今事務局より説明がありましたが、委員の皆さまより資料3の食育目標指標の状況について御意見をいただけますでしょうか。

（委員）

①「★20～30歳代の女性のやせ（BMI18.5未満）の人の割合」についてですが、小学生でも太りたくないと言う時代ですので、食生活の意識については調べていらっしゃるのでしょうか。

(事務局)

実際の意識調査では体重と身長を聞き、やせかどうかの判定をこちらで行っています。今詳細の分析を大学にお願いしているのですが、朝食を食べていない方がやせの方が多いのではないかと、運動をよく行っているのではないかと等を想像しながら分析をかけているところですので、やせてしまった原因が分かってくると良いと思います。

(会長)

詳細の分析を行ったところ、20～30歳代の女性のやせについての相関関係を見ていますが、今のところ有意差を感じるのは運動のしすぎではなく運動不足の方が関係しています。また、スマートフォンを見ている時間が長いことに有意差の傾向があります。40～50歳代男性の肥満に関しては、ご自身が運動不足と感じている人の8割に有意差がありました。そのためやせていても太っていても運動不足と感じている傾向、また肥満男性は睡眠を十分に取れていないということも有意差がある傾向にあります。

(委員)

資料3の1ページで⑥「朝食を毎日食べる中学生の割合」についてですが、小学生はもう少し高いと思います。朝食が重要と位置づけていますが、食べていない子もいて、学校に来るだけで疲れたと言います。朝食を食べると勉強や運動ができるというクロス集計もあるようですが、さらに最近は暑いので、しっかり朝食や塩分も取り熱中症対策をして欠食防止を伝えている状況です。また、学校で先生から食に関する話を聞いたり指導を受けたりしたというのが、小学校で33%は低いと思いました。過去の食生活のことについてです。覚えていないのかなと思いますが、現在は先生から必ず食に関する指導をしているので実際は100%だと思います。

(会長)

そうですね。過去を聞いているので、忘れているか、食事の話として意識していないかもしれません。これが、この食育推進会議を持つ大きな意味なのだろうと思います。なかなか日常の中で意識としてあがりにくいのでしょうか。

小・中学生と高校生の詳細分析についてですが、全体的な世代に言えますが、朝食欠食の人は運動をしている人の割合もやはり少ないです。有意差について、主食・主菜・副菜が整う食事と主観的健康観には強い相関関係があります。中学生の時に家族と一緒に食事をしてきた人は、今の状態で主食・主菜・副菜が整う傾向があります。小学生の時ですと食事の挨拶をしていたという人は、食事の回数に有意差が出ています。小・中学生と高校生の年代で、家で3食決まった時間に食事を摂った、人と一緒に食事を摂った、季節の食材を用意した、楽しくて心地よかった、地域で農業などの食体験をしたという方は、全ての年代で、現在、主食・主菜・副菜が整う食事の頻度に大きく有意差が出ました。学童期からの食環境が成人期へも影響を与えているというのは、この伊勢原市で統計上明らかになりました。また、食事の楽しさや心地よさを感じていた人は、現在の共食の頻度と有意差が出ています。

(委員)

過去の食事が影響しているというお話に興味を持ちました。朝食について言うと、中学生は朝練があり7時から7時30分に登校しますので、朝練に参加する子は朝ご飯を食べて来ないのではないかと思います。いがちなのですがそうではなく、どちらかというときりぎりぎりに起きて登校する生徒の方が、朝ご飯を食べていないように感じます。朝練に参加している子は朝ご飯をしっかり食べている子が多い傾向のようです。そういう意味では朝の活動は子どもたちの生活リズムを作る上で大切だと感じています。また、

先ほどの委員のお話では過去に食育を受けた小学生が33%は低いということでしたが、中学生はさらに低く23%でしたが、中学校2年生の食育の授業では骨密度測定を実施するなど、かなり定着しているなど感じています。家庭科等でも食育の話をしたり、学校給食が選択制のデリバリーで始まっていたり、様々な食の情報提供が学校教育課からもされているので、子どもたちの耳に入っているけれども残っていないのかなという反省も込めて数字を見たところです。

(会長)

今のお話を受けて、栄養教諭のお立場でいかがでしょうか。

(委員)

小学校の食育を行っていますが、食育の話聞いたのに覚えていないのは問題かと思います。夏休み前の給食がちょうど終わり、昨年度から子どもたちに給食室の見学ツアーをして、調理釜を混ぜる体験や食器を洗浄機に流す体験をしてもらいました。とても暑い中で調理員さんがこんな大変な思いをしていることを感じて、食材に触れることや体験が記憶に残り、様々な形で食に興味を持てる子が増えて、将来的に大人になって食が大切だと思いつけて欲しいと思います。

(委員)

民生委員の立場から申し上げますと、家庭の事情があつて朝食を摂れないこともあると思いますので、自分で料理を作ることができる子どもたちが増えるといいなと思いました。

(委員)

なんとなく子育てをして過ごしてきましたが、実際食育ができていたかと反省することが多々あります。一人で食べさせてきたとか、後片付けをしなくても当たり前ということがあつたりしました。意識していなかったですが、共食や後片付けが食育につながるのだなと思いました。

(会長)

一度こうして意識するということが大事なのだろうと思います。

(委員)

私は子どもさんと関わりはないのですが、自分が育った頃食育はそれほど話題になっておらず、3食食べる、朝食を食べるのは当たり前だったのかなと思います。反対に片付けはいいから勉強しなさいと言う親御さんが多いのかなと思います。孫に手伝ってと言っても少しやったら飽きてしまうということもあり、学力重視で、家族の団らんやコミュニケーションが、食育を通して少ないのではないかと感じます。

(会長)

長い目で見ると、手伝うということが大きな勉強になると思うのですが、子育てしていると説明してやらせるより自分がやった方が早いのも分かります。そこを振り返ることも重要なのだろうと思います。

それでは他にないようですので、議事(3)「第4次伊勢原市食育推進計画 令和6年度評価及び令和7年度取組について」を事務局から説明をお願いします。

(事務局)

第4次伊勢原市食育推進計画令和6年度評価及び令和7年度取組について説明します。資料4の1枚目を御覧ください。

各部署で行われている食育事業の、令和6年度における5つの食育目標と13の基本施策の進捗状況などが達成できているかどうかの評価資料になります。令和6年度の取組について評価を各担当で行い、

評価の区分は、Aは計画どおり進捗した、Bは概ね計画どおり進捗した、Cは計画どおり進捗できなかった、Dは事業を実施できなかった、の4段階となっております。なお、こちらにつきましては計画の評価ということで、市のホームページにも掲載を毎年しております。

全体の結果は表の下から2段目に記載してあるように「A」は79.1%、「B」は18.6%と合わせて97.7%と、9割以上が計画どおり進捗していました。

各課の事業については、出席をしております食育関連課ごとに説明をさせていただきます。

(こどもみらい課)

4つの事業を行っております。一つ目の母親父親教室では、妊婦やその夫に対して食に関する講義・妊婦さんの栄養調査・料理の実演や試食を行っております。二つ目の乳幼児健診では受診された保護者に対して食教育や食事相談を実施しております。三つ目の離乳食教室では、離乳食の基本や乳児期・授乳期の栄養についての講義や実演を行っております。四つ目の産前産後サポート・産後ケア事業では、すくすく離乳食相談での離乳食の取り分けの実演や個別の離乳食相談・食事相談、産後ケア事業参加者への食教育を行っております。いずれの事業も評価指標に達していたことからA評価とさせていただきます。今後の取組についてですが、四つ目の産前産後サポート・産後ケア事業については、今年度産後ケアのデイサービス型を年12回から18回に増やして実施いたしますので、今後の方向性としては拡大・拡充して実施とさせていただきます。こどもみらい課では今後も若い世代の方が妊娠・子育てをきっかけに、食への意識を高めていただけるように取り組んでいきたいと思っております。

(保育・幼稚園課)

全ての項目で実施できていましたので、A評価とさせていただきます。

本日追加でお配りした「保育所等食育に関するアンケート」について説明いたします。このアンケートの結果を事業の評価に反映させていただいておりますが、対象としている施設は保育園が12施設、幼稚園・認定こども園が10施設の計22施設にアンケートに答えていただきました。大きく6つの項目のうち2つについて説明いたします。③の「バイキング給食」ですが、R5年度に「バイキング給食を行っていますか」というアンケートを実施しましたが、施設によってはバイキングというものが好きな物を好きなだけ食べると捉えている園もあると思われましたので、R6年度では「主食・主菜・副菜をバランス良く食べることを目的とした食育指導やイベント給食等を行っていますか」という質問に変更したところ、「はい」と回答した園が増えました。また⑤の「クッキング保育」では、R6年度実施している園が18施設で、施設種類別の内訳は、保育所は100%でしたが、幼稚園・こども園で半分くらいです。

(学校教育課)

事業は6項目あり、全てA評価とさせていただきます。事業番号10番「家庭地域との連携(小・中学校)」では、給食だより・学校だより・保健だよりの発行や給食試食会、給食衛生委員会等で状況を保護者に報告しております。また11番「思春期栄養改善事業」では、中学2年生に骨量測定を行い、栄養教育や食生活に関するアンケートを実施した結果を食育の指導に役立てていただくため、中学校にお返ししております。18番「給食時間等における食育(小学校)」については、年間計画に沿って実施しております。今年度は実態把握のため実績を確認し、各学校の年間計画に基づいてもう少し細かく評価できるような評価指標設定につなげてまいりたいと思っております。19番「給食時間等における食育(中学校)」については、現在選択制デリバリー方式を行っておりますが、中学校でも給食の時間を通して食育を行っております。25番「行事食、郷土料理、特別献立の実施(小学校)」につきましても、学校給食で取り入

れて実施しました。41番「小学校給食における地場産物の使用推進」は、キャベツを使用する予定が、天候不良で急遽使用できませんでしたが、目標回数を超えて実施できA評価でした。また、農業振興課と協力して、伊勢原市の酪農家さんから地ミルクを提供していただき、小学校3校にシチューとして提供しました。

(教育指導課)

項目は3つで、14番「各教科等での食に関する指導」では、小学校1年生～中学校3年生まで各教科の教材に合わせて食育に関する指導を計画通り進めることができました。29番「学校における食育活動への支援」は健康づくり課から支援を受けて、教職員に情報提供や研修会で実施することができました。36番「総合的な学習の時間等での食育の取組」は、食を通して地域や食文化を理解し、生活習慣を自分のこととして捉えるような体験等を踏まえて各学校で実施しています。市の食育推進計画、文部科学省からの食に関する指導の手引き、学習指導要領を踏まえて各学校で計画を進めていきたいと思っています。

(農業振興課)

37番「農業体験事業」については、比々多・善波地区のみかんの木オーナー制度と日向地区の谷戸田オーナー制度に取り組んでおります。指標に対しての実績は、提供本数等の登録数になっておりますが、みかんの木オーナー制度につきましては、農業者の高齢化や担い手不足、鳥獣被害や天候によって左右されて提供本数が少ないことが要因となりました。また、谷戸田オーナー制度はリピーターも含め20組に対して15組でした。これは伊勢原里山研究会に委託して市の事業として取り組んでおりますが、NPO法人に協力もいただき農学部関係の学生や大学の先生、ボランティアに御協力いただいている状況です。38番「農業に関するイベント」では畜産まつりが挙げられます。コロナ禍後2回目の開催となります。評価指標8,000人に対して9,000人ということでA評価とさせていただきましたが、こちらも天候に非常に左右され影響すると思っております。午前中に集中し14時頃には少ない傾向がコロナ禍後にあると感じました。39番「市民農園」は、市が指定管理している八幡谷戸ふれあいガーデン216区画とNPO法人が管理する市民農園があります。八幡谷戸ふれあいガーデンは市民以外の近隣の方も利用されておりますが、B評価です。43番「伊勢原市の農畜産物を用いたメニューの紹介」は健康づくり課に協力をいただいた中で「いせはら地ミルク」を市のホームページで紹介させていただいております。また、学校教育課のお話にもありましたが、3校の学校給食にも酪農家さんの地ミルクをシチューに使用したり、食育ビデオを放映させたり、地元の農畜産物への関心を高めるということで実施の有無についてはB評価とさせていただきました。

(地域福祉推進課)

昨年度まで介護高齢課で実施していました介護予防や地域包括ケアの推進に関わる事業について、生活困窮者等、福祉の事業をまとめた課になりました。地域共生社会の実現に向けて重層的な支援体制を整備するために4月に新しくなった課です。

7番「生き生き健康教室(短期集中予防サービス事業)」については、介護予防や日常生活支援の総合支援事業の中に位置づけられているもので、生活機能を改善するために、管理栄養士の話や運動機能プログラムを、要支援1・2の方でサービス未利用者を中心に実施しております。1コース12回・週1回3か月間実施し、R6年度は3コース実施しました。参加前後の評価指標は食品摂取多様性得点(DVS)の変化をみておりますが、参加開始時7.5だったのが終了後8.1にアップし、食事に対する意識の変化がみられているという結果が出ました。R7年度は2コースの開催になりますが、高齢者の低栄

養予防や介護予防について食に関して一体的に取り組を継続してまいりたいと思います。

(健康づくり課)

事業が多いのですが、その中でB評価になってしまった事業が2つありました。6番「低栄養防止事業」は、市のいきいき健診や民生委員の高齢者への訪問活動時に身長と体重を記入していただき、低栄養かどうかを把握できるチェックシートを配布・回収し、栄養相談を実施する事業ですが、電話がつかないことや訪問しても玄関先に出てきていただけないというケースが増え、再訪問するなど工夫して実施している状況です。今年度も引き続き実施していますが、健康づくり課での実施をPRしたりと実績が上がるように計画していきます。15番「大学生への食育推進事業」について、今回皆さんに紹介させていただいた食事バランスガイドや食育に関する資料を産業能率大学と連携し、配架させていただいたりと実施しているところです。昨年度実施した食育の意識調査ですが、若い方の回答率がなかなか上がらないだろうということで市内に在学している大学生向けに実施予定でしたが、1年ずれて、今年度ちょうど回答のお願いをしている状況ですので昨年度はB評価です。

こちらのシートには食育関連課以外で保険年金課と社会教育課、環境対策課、清掃リサイクル課、伊勢原市ヘルスマイト、平塚市保健福祉事務所秦野センターの活動の評価と計画も載せていますので御確認いただければと思います。

(会長)

ただ今各課からの御説明がありましたが、御意見・御質問があればお願いいたします。

(委員)

本日配布されました保育所等給食に関するアンケートの①農業体験の設問d「(在園児の年齢別) 農業体験をしていますか?」で各部署幅広い年齢域で行っていると思いますが、内容は各園に任せて行っているのでしょうか。

(保育・幼稚園課)

市から何かやっってくださいとは伝えておりません。園により受入年齢の違いはあり、実施内容は園に任せています。

(委員)

農協も農業体験で田んぼ等を行っていますが、年齢対象を絞っております。年齢が小さいと取組としては良いことですが、記憶に残らないことがあるのかなと思います。

(保育・幼稚園課)

年齢対象が低すぎると記憶には残らないかもしれませんね。内容については聞き取りしておりませんが、私が知るところでは2園の公立の保育園で5歳児のみ農業体験の対象となっております。

それぞれの園で、実際に育てることなのか見たり観察するなど、どこからが農業体験としているのかの線引きは分からないのですが、先生とお子さんのやりとりがあり、見ているだけでも農業体験として経験しているようにも思います。

(委員)

農協でも農業体験を行っているので、アンケートを参考に対象年齢についても見直したいと思えます。ありがとうございました。

(委員)

様々な課が取組を行っている実感があります。重点項目である20～30歳代女性のやせや、40～50歳代男性の肥満を直に担当しているところは少なく、事業を打ちにくいだろうと思えますので、

これから考えていったら良いだろうと思いました。

(会長)

そうですね。やせに関して、神奈川県内では方法を変えてプレコンセプションケアを行っている市もあります。例えば横須賀市は、プレコンセプションケアを行っています。

(委員)

やせの問題では、私自身、年齢を重ねると共にやせにくくなっていくのかなと感じます。それでも体型を元の通りにしようと食生活や運動に取り組みすぎても老化します。病気ではないかと通院しますが年相応と言われます。

幼稚園では、朝早く登園する親御さんに朝御飯を食べさせて家を出ているのかと聞くと、私も食べないから食べさせない等とのことでした。1日2食になるわけで心配です。また、様々なアレルギーのお子さんが多くて心配です。

(委員)

保育園でも朝御飯を食べさせてもらえないお子さんがいます。そういうお子さんは落ち着かなかつたりイライラしたりします。0～2歳児さんはそれでも午前中のおやつがあるので給食までもつのですが、3～5歳児さんはないので、やはり朝御飯を食べて欲しいなと思います。私は事あるごとに早寝早起き朝御飯だよと言っています。また給食日より食育の周知をしています。

(会長)

ありがとうございました。

それでは議事(4)「その他」について、事務局からお願いします。

(事務局)

(4) その他としまして、報告になりますが、資料5の食育料理コンテストについて説明します。実施要領を御覧ください。今年度も食育料理コンテストを湘南農業協同組合に協賛いただき、実施の予定です。参加に御協力いただいている小中学校の皆様、審査員として御協力いただいている委員の皆様、どうぞ、今年度もよろしく願いいたします。中学生の部は、現在、中学校給食のメニューに、受賞者の生徒さんのメニューを取り入れていただいています。また、受賞者メニューのレシピ集をJA湘南の伊勢原市内の直売所に置かせていただいています。ぜひ、引き続き連携していければと思います

(会長)

事務局からの説明について、何か御意見・御質問ございますか。

(委員)

私自身が勉強する場となって嬉しく思います。妊娠時や出産後などに色々な方が手を差し伸べてくださっているのだなと分かりました。学校給食は食の幅を広げる機会だということや、保育園でもお世話になりましたが手作りおやつなどを用意してくださり、働いている時に出来なかったことを、支えていただいたなと思いました。そういった経験を積んできた子どもが小学校入学後、給食で出たわかめ御飯を食べたいと言ったので一緒に家で作ったりしました。食が家族をつなぐのだと思いました。

(委員)

私事ですが、食育に関しては本当に家内にお世話になり全く頭が上がりません。

(会長)

ありがとうございます。活発な御意見、また進行に御協力いただきありがとうございます。

本日の議事はこれですべて終了いたしました。事務局にお返しします。

(事務局)

それでは、次回の連絡会議では、本日頂いた御意見を踏まえ、今後取り組む具体的な事項について検討していきたいと考えております。

次回の開催日程ですが、事務局案としては11月20日(木)午後2:30~午後4:00、伊勢原市民文化会館リハーサル室を予定しております。日時と場所や内容等詳細は改めて事務局から御通知させていただきますので、よろしく願いいたします。

なお、第3回目は、来年の2月26日(木)午後3:00~午後4:30 伊勢原シティプラザ1階ふれあいホールを予定しております。

また、事務局で本日の会議の議事概要を作成いたします。皆様にも内容の御確認をお願いしたいと思っておりますので、頂いている連絡先にお送りいたします。

それでは、最後に副会長より閉会の御挨拶をお願いいたします。

(副会長)

以上をもちまして、第1回伊勢原市食育推進会議を終了させていただきます。